

防災対策事業について

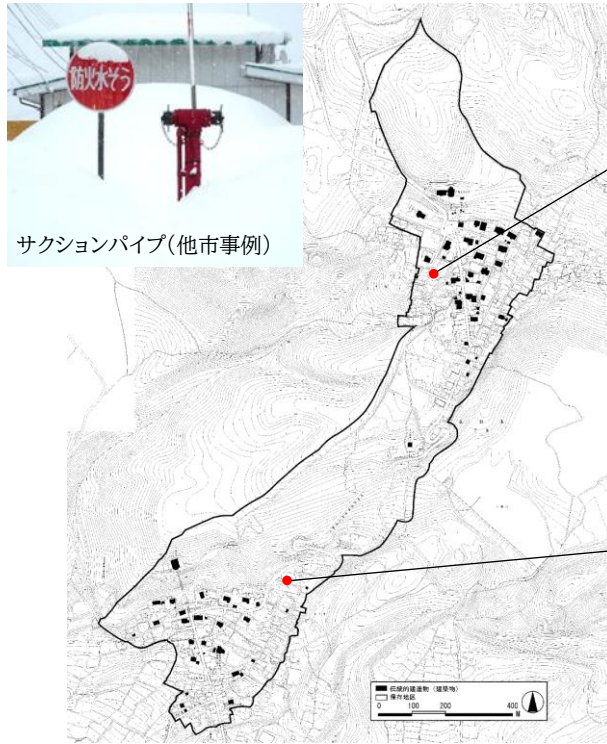
1 防災対策事業の進捗と今後の予定について

実施年度	優先的に取組む対策と進め方のイメージ	
R8	[R8～13 実施] 2-(b)-④ 外部通報システムの整備 「外部通報システムの勉強会の開催」 ・消防団、特定物件の所有者、区長など参加者を限定する。 ・R7 年度の市の検討結果を地元と共有すると共に、他地区の事例を勉強する。 ・メーカーから情報提供をしてもらい、地元の実情と調整する。 ・地元の負担が発生することもあるため、戸隠における導入の可能性を調査する。 ・その後、導入する場合の補助制度等について検討を進める。	[R8～9 実施] 1-(d)-① 観光客の一時避難場所・避難所の検討 1-(d)-② インバウンドも想定した避難誘導体制の検討 「インバウンドも含めた観光客への災害時の対応の検討」 ○各施設における避難誘導の取組についての情報共有 ・地区の店舗等の避難訓練の内容を確認して共有する ・共有の課題が想定されるそば組合・旅館組合などの単位で意見交換を行う ○インバウンドへの対応 ・地区内各施設や団体の防災時のインバウンド対策を把握、共有する ・キーワード集など地区共通で使えるツールを作成する ・防災アドバイザーからの専門的アドバイスや、市役所のネイティブの職員に英語を監修してもらえると良い
R9		
R10	1-(a)-② 防災に関する勉強会の開催 「継続的な勉強会の開催」 ・防災への意識づけを持ってもらえる機会として、継続的に各組合や地元会合、イベントのタイミングに合わせて開催する。	
R11	3-(a)-④ 構造補強指針の作成 「耐震改修モデルの作成」 ・他地区事例の耐震補強工事の事例を調査する。 ・耐震補強工事に段階的な改修イメージが持てるよう、防災アドバイザー等にアドバイスを求めモデルタイプをとりまとめる。	
R12		[R12～13 実施] 「防災計画改訂に向けた検討」 ・R14 年度の改訂に向けた準備を進める。 ・現在の計画に含まれていない水害・落雷について、地元との意見交換を行いながら対策を検討する。
R13		
R14	防災計画改訂	

2 令和7・8年度防災対策事業について

(1) 既存貯水槽改修工事【継続中・国補】

- ・給水口までのアクセスが悪い既存貯水槽2箇所を改修し、積雪時の給水を容易にするためのサクションパイプを設置
- ・R8年度9月に改修工事終了予定



設置予定地:中社区



設置予定地:宝光社区

(2) 防災に対する勉強会等の実施

R7年度は、中社区・宝光社区の防災訓練の際に、勉強会や軽可搬ポンプの操作訓練を実施した。
→R8年度も、防災訓練の際に勉強会などを実施予定。

(3) 外部通報システム構築の検討【継続中】

- ・ 隣家との距離が離れており早期覚知が難しい課題を解消するため、早期に火災覚知・通報できるシステムの構築について検討
- ・ R7 年度は外部通報システムの構築に向けた基本設計を実施。
→R8 以降は R7 年度の基本設計を関係者と共有し、比較検討を行う。

2-(b) 早期発見・早期通報

課 題	
・ 設置義務のある住宅用火災警報器や自動火災報知設備の適正な設置・管理 ・ 火災発生をいち早く発見・通報できる仕組みづくり	

対 策	
2-(b)-① 住宅用火災警報器の設置・管理の徹底	市火災予防条例で設置が義務付けられている住宅用火災警報器を確実に設置するとともに、適正な維持管理と点検を行う。
2-(b)-② 自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化	消防法で自動火災報知設備の設置が義務付けられている旅館等の施設については、適正な維持管理と点検を行う。 設備更新の際には、火災発生区域を容易に特定できるアドレス機能付き受信機や、電話回線やEメールにより火災報をあらかじめ登録した連絡先へ通知するための装置の付設を検討する。
2-(b)-③ 炎センサーの設置	夜間無人になる施設や隣家から離れた建物については炎センサーを設置し、不審火をいち早く発見できるようにする。
2-(b)-④ 外部通報システムの整備	隣家との間隔が離れた建物や、留守宅での火災を周辺住民が早期に発見し、通報することができるシステムを導入する。

煙感検知型住宅用火災警報器をすべての居室に設置し、かつ、この警報器が火災が起っても建物の警報音がすぐに火災の発生を感知できるように、その間に適切な対応ができます。

（参考）外部通報システムの例（防災計画策定調査報告書より）

外部通報装置は、屋内に住宅用火災警報機器を設け、これと連動するサイレンやブザー等の警報器を屋外に設置して火災発生を外部（表通り）に通報するシステムである。一般的な装置としては以下のものがあげられる。

- ・ 屋内の住宅用火災警報機器を連動型とする。無線によりワイヤレスとすることができる。
- ・ 住宅用火災警報機器の信号を受け取る「移報アダプタ」を設置する。
- ・ 「移報アダプタ」と接続された外部の警報機器（サイレン、ブザー等）を設置する。
- ・ 無線型住警器は15個まで連動可能。住警器の間隔は100mまで可能（離れと母屋をつなぐこともできる）

(4) その他（ソフト事業など）【継続中】

- ・ R7 年度 10、11 月に防災訓練を実施
中社区：小口径 40 mm 消化ホースの放水訓練（消火栓）
宝光社区：消火器による消火訓練・通報訓練
防災訓練の際に耐震改修勉強会を実施
- ・ R8 年度は、R7 年度に引き続き計画後半期（R9 年度～13 年度）のアクションプランの検討を行う

3 防災対策事業の全体フレーム（防災計画）

項目	課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他
1 防災全般	1-(a) 防災に対する理解の促進	1-(a)-① 住民向け防災マニュアルの作成		●					○	◎	○
		1-(a)-② 防災に関する勉強会の開催		●					◎	○	○
	1-(b) 災害に強いコミュニティづくり	1-(b)-① まちづくり活動の活性化		●				○	◎		
	1-(c) 効果的な防災訓練の実施	1-(c)-① 発災型の防災訓練の定例実施		●				○	◎	○	○
	1-(d) 観光客への対応	1-(d)-① 観光客の一時避難場所・避難所の検討		●					○	◎	
		1-(d)-② インパウンドも想定した避難誘導体制の検討		●					○	◎	
	1-(e) 早期復旧・復興への取り組み	1-(e)-① 応急復旧資材の確保		●					◎	○	
		1-(e)-② 修理用建材のストックヤード確保	●						◎	○	
		1-(e)-③ ヘリテージマネージャーや職人等との連携強化		●					◎	○	○
		1-(e)-④ 修理履歴や図面の記録保存		●				○		◎	
		1-(e)-⑤ 古写真や史料の保管・記録		●				○	◎	○	○
	1-(f) マンパワーの確保	1-(f)-① 移住希望者への支援		●					◎	○	
2 火災	2-(a) 出火予防	2-(a)-① 出火リスクの把握と低減、日常点検の徹底		●				◎			
		2-(a)-② 老朽化した電気配線・設備の更新	●					◎			
		2-(a)-③ 感震ブレーカーの設置	●					◎		○	
		2-(a)-④ 不審火・失火の警戒		●				◎	○		
	2-(b) 早期発見・早期通報	2-(b)-① 住宅用火災警報器の設置・管理の徹底		●				◎			
		2-(b)-② 自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化	●					◎		○	
		2-(b)-③ 炎センサーの設置	●					◎		○	
		2-(b)-④ 外部通報システムの整備	●					○	○	◎	
	2-(c) 初期消火・延焼防止	2-(c)-① 街頭消火器等の配備		●					◎	○	
		2-(c)-② 住民が扱いやすい消火設備の配備	●						○	◎	
		2-(c)-③ 延焼危険度が高い建物への消火設備の設置	●					○	○	◎	
		2-(c)-④ 飛び火警戒の体制づくり		●					◎	○	
	2-(d) 施設での避難・誘導	2-(d)-① 冬季も考慮した避難経路の確保		●				◎			
		2-(d)-② 不特定多数が利用する施設での避難誘導計画等の作成		●				◎		○	
	2-(e) 消防活動	2-(e)-① 防火水槽の改修、更新	●						○	◎	
		2-(e)-② 消火栓の改修、新設	●						○	◎	
		2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備	●						○	◎	
3 地震	3-(a) 建物の耐震対策	3-(a)-① 劣化・破損の日常点検と初期補修の実施		●				◎			○
		3-(a)-② 適切な雪下ろしの実施		●				◎	○		
		3-(a)-③ 耐震診断の推進		●				◎		○	○
		3-(a)-④ 構造補強指針の作成		●						◎	○
		3-(a)-⑤ 建物の構造補強の推進	●					◎		○	
	3-(b) 工作物の耐震対策	3-(b)-① 石垣・石造物等の日常点検の実施		●				◎	○		
		3-(b)-② 石垣・石造物等の耐震対策の推進	●					◎		○	○
		3-(b)-③ 地震時の危険性についての注意喚起		●				◎	○	○	
4 雪害	4-(a) 建物の補強・改修	4-(a)-① 雪害頻発箇所の補強	●					◎		○	
		4-(a)-② 雪溜まり箇所の腐朽対策	●					◎		○	
	4-(b) 屋根積雪の抑制	4-(b)-① 適切な雪下ろしの実施（再掲）		●				◎	○		
		4-(b)-② 効率的な屋根融雪の調査研究		●					○	◎	○
	4-(c) 排雪処理	4-(c)-① 適切な隣棟間隔の確保	●					◎			
		4-(c)-② 共同排雪場所の確保	●						◎	○	
5 その他災害	5-(a) 土砂災害対策	5-(a)-① 県の砂防事業等との連携	●						○	◎	
		5-(a)-② 避難計画の立案・事前避難等の徹底		●				◎	○	○	
		5-(a)-③ 伝統的建築物の移転等の位置の検討		●				◎		○	
	5-(b) 倒木・落枝対策	5-(b)-① 樹木の日常点検・管理の実施		●				◎	○		
		5-(b)-② 樹木医診断に基づく樹勢回復		●				◎		○	○
		5-(b)-③ 危険木等の伐採	●					◎	○		
		5-(b)-④ 無電柱化の推進	●						○	◎	